

ポーチュラカを増殖させました

メルヘン活動として「花いっぱい」を推進するために、花壇の拡張やプランターの増設、花畑の開設などを行っていますが、今年は元気のない花苗が多く見られます。特に、東俣野小学校との花苗づくりで種から育てたデージーは、残念ことに6月末には姿を消してしまいました。花壇やプランターに裸地が増えたので、補植する花苗を育てることにしました。

園内で元気に生育してるジニアとマリーゴールド、ポーチュラカの3種を調べてみると、ポーチュラカは挿し芽で簡単に増殖できることが分かりました。



左の写真は、レストハウス脇の広場に置かれた大型のプランターです。3種類の花が山盛りに育ち、プランターからこぼれ落ちそうな勢いです。外側にあるのがポーチュラカです。



そこから穂先を5~10cm切り取り、水に漬けて発根の状況を確認しました。すると、6日目には根が生えているのが分かりました。

左の写真の右下の方に白い糸のような根が生えてきています。この勢いならすぐに苗が作れそうです。



右の写真は、植壤土を入れたポットに挿し芽をしてから2週間余り経過した状態ですが、ここまで育てば花壇やプランターに植え付けられます。



最後になってしまいましたが、ポーチュラカをご存じない方も多いかと思えます。この植物は南米原産の植物で、日本に導入されて半世紀足らずです。スベリヒユ科に分類されており、同じ科の植物にマツバボタンがあります。マツバボタンも南米原産のようですが、江戸時代に渡来したと言われていたもので、国内でも馴染みのある植物になっています。多肉植物で横に広がる性質は似ていますが、葉の形が違います。マツバボタンは名前のお通り、葉の形は松葉のようです。いずれの植物も花をたくさんつけて楽しませてくれます。